

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 17日

協議会名: 富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	滑川 ※車両減価償却費等国庫補助金	沿線自治体と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すなど、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は32.9人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めた結果、今年度の利用者は117,373人となり、前年比110%増加した。物価高騰の影響を受け、ノンストップバスの導入は実施していない。	引き続き、沿線自治体と連携し、これまでに実施してきた駐輪場やバスのロケーションシステムのPRなど、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	猪谷 ※車両減価償却費等国庫補助金	富山市と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すなど、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は38.5人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めた結果、今年度の利用者は170,411人となり、前年比117%増加した。物価高騰の影響を受け、ノンストップバスの導入は実施していない。	引き続き、富山市と連携しP&BR駐輪場やバスのロケーション情報などのPRなど、利用促進に取り組む。加えて、沿線の病院や地元の商業施設と連携し、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	富山～高岡 ※車両減価償却費等国庫補助金	沿線自治体と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すとともに、日中時間帯のパターンダイヤ化などわかりやすいダイヤを提供し、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は62.4人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めた結果、今年度の利用者は219,690人となり、前年比104%増加した。物価高騰の影響を受け、ノンストップバスの導入は実施していない。	引き続き、沿線自治体と連携し、これまでに導入してきたバス停周辺の駐輪場やバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、学校等とも連携し、利便性の高いダイヤを検討し、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	富山～小杉 ※車両減価償却費等国庫補助金	沿線自治体と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すとともに、日中時間帯のパターンダイヤ化などわかりやすいダイヤを提供し、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は45.1人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 利用促進に努めたものの、今年度の利用者は115,016人で前年比99%と微減となった。物価高騰の影響を受け、ノンストップバスの導入は実施していない。	沿線の自治体と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーション情報などのPRを行う。また、減少した定期利用者のうち、通学利用者は別系統学校用のバスへ移行していることから、新規利用者獲得に向け、利便性の高いダイヤの作成に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 17日

協議会名: 富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	山田 ※車両減価償却費等国庫補助金	富山市と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すとともに、前年同様、沿線の商業施設ファボーレの施設内やHPにバスの時刻表を掲出してもらう等、利用促進に努めた。 なお、輸送量は33.5人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めた結果、今年度の利用者は125,002人となり、前年比109%増加した。 物価高騰の影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	引き続き、富山市と連携し、これまでに実施してきたバス停周辺の駐輪場やバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、ファボーレなどの商業施設と連携して、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	ファボーレ経由萩の島 ※車両減価償却費等国庫補助金	富山市と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すとともに、日中時間帯のパターンダイヤなどわかりやすいダイヤを提供し、利用促進と効果把握に取り組んだ。前年同様、沿線の商業施設ファボーレの施設内やHPにバスの時刻表を掲出してもらう等、利用促進に努めた。 輸送量は25.0人と補助要件の15人を上回っているが、昨年度の輸送量28.3人から減少している。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 利用促進に努めたものの、今年度の利用者は52,584人で前年比84%減少となった。 物価高騰の影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	引き続き、富山市と連携し、これまでに実施してきたバス停周辺の駐輪場やバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、ファボーレなどの商業施設と連携して、利用促進に取り組む。 前年度から運行本数を維持しているものの、利用者が別系統(山田線、国立富山病院線)へ移行していると考えため、利便性の高いダイヤの作成に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	熊野経由八尾 ※車両減価償却費等国庫補助金	富山市と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すとともに、日中時間帯のパターンダイヤなどわかりやすいダイヤを提供し、利用促進と効果把握に取り組んだ。前年同様、沿線の商業施設ファボーレの施設内やHPにバスの時刻表を掲出してもらう等、利用促進に努めた。 なお、輸送量は60.9人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めた結果、今年度の利用者は186,909人となり、前年比101%と増加した。 物価高騰の影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	引き続き、富山市と連携し、これまでに実施してきたバス停周辺の駐輪場やバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、ファボーレなどの商業施設と連携して、利用促進に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 17日

協議会名: 富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	城端	グレードの高い車両(Wi-Fiやコンセント付シート)を投入し、利用者の利便性向上に努めた。 また、沿線の南砺市民に配布する市営バスの時刻表に城端線の時刻表を掲出し、利用促進に努めた。 なお、輸送量は34.9人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めた結果、今年度の利用者は107,691人となり、前年比101%と増加した。	引き続き、グレードの高い車両の投入するなど利用者の利便性向上させるとともに、沿線自治体と連携して、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	富山-国立富山病院 ※車両減価償却費等国庫補助金	富山市と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すとともに、前年同様、沿線の商業施設ファボーレの施設内やHPにバスの時刻表を掲出してもらう等、利用促進に努めた。 なお、輸送量は35.4人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めたものの、今年度の利用者は87,270人となり、前年比104%増加した。 物価高騰の影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	引き続き、富山市と連携し、これまでに実施してきたバス停周辺の駐輪場やバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、ファボーレなどの商業施設と連携して、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	布目経由新港東口 ※車両減価償却費等国庫補助金	沿線自治体と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すとともに、他の系統も含めて、沿線の学校と協議し、学生の利用しやすいダイヤとして、利用促進に努めた。 輸送量は23.5人と補助要件の15人を上回っているが、昨年度の輸送量24.0人から減少している。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 利用促進に努めたものの、今年度の利用者は70,019人となり、前年比96%と減少した。 物価高騰の影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	沿線の自治体と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーション情報などのPRを行う。 また、減少した定期利用者のうち、通学利用者は別系統のバスへ移行していることから、新規利用者獲得に向け、利便性の高いダイヤの作成に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 17日

協議会名: 富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	富山国際大学 ※車両減価償却費等国庫補助金	富山市と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すなど、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は57.0人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めた結果、今年の利用者は164,682人で前年比104%と増加した。 物価高騰の影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	引き続き、富山市や沿線の学校と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、富山市民病院など沿線の施設への利便性をPRL、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	月岡団地経由福沢 ※車両減価償却費等国庫補助金	富山市と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すなど、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は47.8人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めた結果、今年の利用者は122,159人で前年比102%と増加した。 物価高騰の影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	引き続き、富山市や沿線の学校と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーション情報などのPRを行うとともに、富山市民病院など沿線の施設への利便性をPRL、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	石金経由五百石 ※車両減価償却費等国庫補助金	沿線自治体と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すなど、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は26.9人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めた結果、今年の利用者は67,173人で前年比108%と増加した。 物価高騰の影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	引き続き、沿線自治体と連携し、これまでに実施してきたバスのロケーションシステムのPRなどに取り組むとともに、学校等とも連携し、利便性の高いダイヤを検討し、利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	大泉経由五百石 ※車両減価償却費等国庫補助金	沿線自治体と連携し、小学生に対し、夏休みに使用できる無料乗車券を配布し、保護者との利用を促すなど、利用促進と効果把握に取り組んだ。 なお、輸送量は58.8人と補助要件の15人を大きく上回っている。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用促進に努めた結果、今年の利用者は144,205人で前年比106%と増加した。 物価高騰の影響を受け、ノンステップバスの導入は実施していない。	引き続き、沿線自治体と連携し、これまでに実施してきた駐輪場やバスのロケーションシステムのPRなどに取り組むとともに、学校等とも連携し、利便性の高いダイヤを検討し、利用促進に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 17日

協議会名:富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
加越能バス株式会社	脇 起点:高岡駅前 終点:脇	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、沿線市町村と連携、ゴールデンウィーク期間のこどもの日キャンペーンや夏休み期間中のキャンペーンの実施等、PRIに努め利用促進に取り組み、輸送人員・運送収入とも微増した。輸送量は0.9人増加し30.6人であった	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 今年度の利用者数は123,534人で前年度比102%となり、新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられたこともあり改善した。ノンステップバス導入割合は96%であった。	小学生以下を対象とした「バスの乗り方教室」等バスに親しんでいた機会を設け利用者増や拡大に努め、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRIに努め利用促進に取り組み、回復を図る。
加越能バス株式会社	守山経由氷見 起点:高岡駅前 終点:氷見市民病院	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、沿線市町村と連携、ゴールデンウィーク期間中のこどもの日キャンペーンや夏休み期間中のキャンペーンの実施等、PRIに努め利用促進に取り組み、輸送人員は微減・運送収入は微増した。輸送量は0.5人増加し20.9人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 今年度の利用者数は62,610人で前年度比約100%であった。ノンステップバス導入割合は96%であった。	小学生以下を対象とした「バスの乗り方教室」等バスに親しんでいた機会を設け利用者増や拡大に努め、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRIに努め利用促進に取り組み、回復を図る。
加越能バス株式会社	新高岡守山経由氷見 起点:済生会高岡病院 終点:氷見市民病院	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、沿線市町村と連携、ゴールデンウィーク期間中のこどもの日キャンペーンや夏休み期間中のキャンペーンの実施等、PRIに努め利用促進に取り組み、輸送人員・運送収入とも微増した。輸送量は0.9人増加し43.6人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 今年度の利用者数は143,718人で前年度比102%となり、新型コロナウイルスの感染症が5類に位置づけられたこともあり改善した。ノンステップバス導入割合は96%であった。	小学生以下を対象とした「バスの乗り方教室」等バスに親しんでいた機会を設け利用者増や拡大に努め、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRIに努め利用促進に取り組み、回復を図る。
加越能バス株式会社	伏木経由氷見 起点:済生会高岡病院 終点:氷見市民病院	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、沿線市町村と連携、ゴールデンウィーク期間中のこどもの日キャンペーンや夏休み期間中のキャンペーンの実施等、PRIに努め利用促進に取り組み、輸送人員・運送収入とも微増した。輸送量は1.7人増加し24.9人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 今年度の利用者数は80,029人で前年度比104%となり、新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられたこともあり改善した。ノンステップバス導入割合は96%であった。	小学生以下を対象とした「バスの乗り方教室」等バスに親しんでいた機会を設け利用者増や拡大に努め、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRIに努め利用促進に取り組み、回復を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 17日

協議会名: 富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
加越能バス株式会社	仏生寺 起点: 済生会高岡病院 終点: 氷見市民病院	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等や沿線市町村と連携、こどもの日キャンペーンや夏休み期間中のキャンペーンの実施、沿線の学校等への利便性をPRLし潜在的な利用者の掘り起こしに取り組み、輸送人員・運送収入とも微増した。輸送量は1.2人増加し20.7人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 今年度の利用者数は74,432人で前年度比107%となり、新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられたこともあり改善した。ノンステップバス導入割合は96%であった。	小学生以下を対象とした「バスの乗り方教室」等バスに親しんでいただく機会を設け利用者増や拡大に努め、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRLに努め利用促進に取り組み、回復を図る。
加越能バス株式会社	石動 起点: 済生会高岡病院 終点: 石動駅前	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等や沿線市町村と連携、こどもの日キャンペーンや夏休み期間中のキャンペーンの実施、沿線の学校等への利便性をPRLし潜在的な利用者の掘り起こしを行い、輸送人員・運送収入とも増加した。令和6年度より運行回数を平日の回数でみなす事により、輸送量は前年15.1人であったが2.5人増加し17.6人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 今年度の利用者数は71,991人で前年度比112%となり、新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられたこともあり改善した。ノンステップバス導入割合は96%であった。	小学生以下を対象とした「バスの乗り方教室」等バスに親しんでいただく機会を設け利用者増や拡大に努め、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRLに努め利用促進に取り組み、回復を図る。
加越能バス株式会社	済生会・中田団地 起点: 高岡駅南口 終点: 中田中学校前	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等や沿線市町村と連携、こどもの日キャンペーンや夏休み期間中のキャンペーンの実施、沿線の学校等への利便性をPRLし潜在的な利用者の掘り起こしを行ったが、輸送人員は微増・運送収入は微減であった。輸送量は前年17.6人で前年同数であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 今年度の利用者数は38,288人で前年度比102%となり、新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられたこともあり改善した。ノンステップバス導入割合は96%であった。	小学生以下を対象とした「バスの乗り方教室」等バスに親しんでいただく機会を設け利用者増や拡大に努め、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRLに努め利用促進に取り組み、回復を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 17日

協議会名: 富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
加越能バス株式会社	城端白川郷 起点: 城端駅前 終点: 白川郷	国内外からの観光客にも分かり易いようバス位置情報やフリーWi-Fiの提供、また企画切符・商品の販売を継続し利用促進に取り組み、新型コロナウイルスが5類に位置づけされたこともあり、輸送人員・運送収入とも増加した。輸送量は前年20.0人であったが観光需要等の回復により1.5人増加し21.5人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 今年度の利用者数は新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられ観光需要が回復した事もあり、輸送人員は47,091人で前年度比116%となり改善した。ノンステップバス導入割合は96%であった。	小学生以下を対象とした夏休み期間中のキャンペーンを新たに実施し、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRIに努めるとともに、企画乗車券等を企画し国内観光需要の取り込み等利用促進に取り組み回復を図る。
加越能バス株式会社	庄川町 起点: 高岡駅前 終点: 庄川町	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等や沿線市町村と連携、こどもの日キャンペーンや夏休み期間中のキャンペーンの実施、沿線の学校等への利便性をPRLし潜在的な利用者の掘り起こしを行い、輸送人員・運送収入とも微増した。輸送量は1.0人増加し22.0人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 〈目標: 県民一人当たりのバスの年間利用回数〉今年度の利用者数は108,102人で前年度比103%となり新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけされたこともあり、輸送人員は微増した。ノンステップバス導入割合は96%であった。	安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRIに努めるとともに、沿線観光地の情報発信により国内観光需要の取り込み等利用促進に取り組み回復を図る。
加越能バス株式会社	南砺金沢 起点: 井波 終点: 金沢駅西口	各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等や沿線市町村と連携、こどもの日キャンペーンの実施、沿線の学校等への利便性をPRLし潜在的な利用者の掘り起こしを行ったが、輸送人員は微増・運送収入は微減であった。輸送量は前年同数の29.4人であった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 今年度の利用者数は59,845人で前年度比約100%となり新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけされたこともあり、輸送人員は微増した。ノンステップバス導入割合は96%であった。	小学生以下を対象とした夏休み期間中のキャンペーンを新たに実施し、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRIに努めるとともに、企画乗車券等を企画し国内観光需要の取り込み等利用促進に取り組み回復を図る。